

松浦水軍杯バレー大会開催

松浦水軍杯ジュニアバレーボール大会（泉・松浦・青葉ジュニアバレーボールクラブ主催）が10月11日、文化会館など5会場で行われました。

当大会は、昨年開催した泉ジュニアバレーボールクラブ結成25周年記念大会を一過性で終わらせず、引き続き近隣のバレーボールチームの相互交流・親睦を深めるために開催したものです。

市内のほか佐世保市、平戸市、伊万里市などから男子8チーム、女子24チームが参加し、熱戦を繰り広げました。市内からは男子2チーム、女子9チームが参加しました。

上位の結果は以下の通りです。

【男子1位・2位パート】

①長田 ②桜ヶ丘 ③伊万里 ③黒髪

【男子3位・4位パート】

①天神 ②相浦

【女子1位・2位パート】

①日宇 ②花高 ③若岳 ③紐差

【女子3位・4位パート】

①瓊水 ②田代 ③大野 ③直谷

初出場で準優勝！—30人31脚—

まるたかカップ小学生クラス対抗30人31脚長崎大会2009が9月22日、諫早市の県立総合運動公園で開催され、市内から参加した星鹿小学校が見事準優勝を果たしました。

同大会には、県内小学校9校から10チーム約370人が参加。1チーム30人以上の児童が2人3脚の要領で足を結び50秒のタイムを競いました。

同小は、優勝したチームに0.1秒とどかなかったものの、これまでの同小記録の12秒台を大きく上回る10秒40の記録で準優勝を勝ち取りました。



市内最高齢者に花束を贈呈

市内で最高齢者となる野平ミツさん（星鹿・川原辺田、104歳）と、男性で最高齢となる吉永敏夫さん（福島・土谷、98歳）に9月21日、友広市長から長寿をお祝いする花束が贈られました。

野平さんは、明治38年生まれで、若いころは近所の農業の手伝いなどをしていました。現在は御厨町の田中病院に入院しています。野平さんは食事はほとんど食べ、特に甘いものを好まれています。

吉永さんは、明治44年生まれで、幼いころから漁の手伝いをしたり、大人になってからは農業に従事したりしていました。現在は娘さんの家族と同居し、日ごろは新聞やテレビを見たり、庭の草取りや家の周りを散歩したりして過ごしています。地区の敬老会で友広市長から花束を受け取った吉永さんは「魚釣りが大好きでよく連れて行ってもらうことが健康の秘訣です」と話していました。



とき

vol.46

稲本さんのよしきよ1号が
グランドチャンピオン!

—第5回県北地域和牛共進会
松浦市代表牛選考会—

としろう
稲本 俊郎 さん
(鷹島・原、55)



第5回県北地域和牛共進会の代表牛選考会の様子



第5回県北地域和牛共進会の松浦市代表牛選考会が10月2日、平戸中央家畜市場で開催され、鷹島町の稲本俊郎さんの和牛「よしきよ1号（18カ月・雌）」がグランドチャンピオンに選ばれました。

選考会は、和牛改良の成果を確認し、県産「ながさき和牛」の推進を図ることを目的に開かれたもの。

この日は市内6地区から選ばれた30頭が5部門に出場。農協職員や県の畜産担当者などが発育状態や資質、体形などを審査しました。各部門の上位3頭（計15頭）が、11月2日に同所で行われる第5回県北地域和牛共進会の市代表牛として選ばれ、稲本さんの和牛は代表牛の中で最もすぐれているグランドチャンピオンに選ばれたものです。

稲本さんは、母、妻、子ども2人の5人家族。20歳ごろから父の後を継ぎ畜産を始め、現在は約500平方メートルの牛舎と放牧場で、母牛24頭の黒毛和牛を飼育しています。

稲本さんは「妻と2人で牛たちを育てています。畜産だけでは生活していけないので水稲やたばこも作っており、農繁期は忙しいですね。畜産をやっている苦勞を感じることはありませんが、子牛たちが順調に育って高値で売れたときにはやりがいを感じます。今後は35頭ぐらいいまで増やしたいと考えています。飼料作物の収穫などの人手が不足する心配があります」と話していました。